

平成 28 年度第 1 回新市建設計画審議会 会議録

日 時 平成 28 年 6 月 6 日（月） 午後 1 時 00 分～ 2 時 30 分

場 所 保原本庁舎 2 階特別会議室

出席者 新市建設計画審議会委員 17 名

市長、副市長、教育長、市長直轄理事、総務部長、地域振興対策政策監、財務部長
健康福祉部長、産業部長、建設部長、教育部長、こども部長、市長直轄参事
健康福祉部参事、各総合支所長
（事務局）総合政策課

（１）新市建設計画について・・・事務局より説明（資料１）

委員：

審議会委員の中には、これまでの経過を理解している方もいれば、そうでない方（初めての方）もいる。いきなり資料の数字を見ても意見など述べようがない。事前に配布していただけないか。また、資料１について工夫して見やすい資料にしてほしい。

直轄理事：

これまで携わっていた方と初めての方で内容の把握に差があることは理解している。次回から、事前に配布するようにしたい。

総政課長：資料の工夫については検討する。

（２）H27 実績と H28 実施計画について・・・事務局より説明（資料２）

委員：

高子北の宅地開発が進められようとしている。避難者も含めた住宅需要に対応することも重要だと思う。また、阿武隈急行の沿線開発という意味でも市の発展に寄与すると思う。現在の進捗状況をお聞かせ願いたい。

建設部長：

H27 年度から事業検討パートナー（住宅関係・開発関係・コンサルの３社）と事業化の検討をしている。昨今の住宅需要に対応し、H30 年から分譲開始を予定している。規模は 350 戸～400 戸で３期に分けて分譲予定である。

今年度は、区画整理の業務代行業者を決定したい。

委員：

相馬福島高速道が順調に施工されていると聞いている。市道とのアクセス道路の整備の進捗についてお聞かせ願いたい。

建設部長：

事業№37（繕木・杉ノ内線道路改良工事）は霊山道の駅と霊山 I C のアクセス道路。すでに事業には着手しており、今年度内の完成を目指したい。事業№38（上ノ原 2 号線）は上保原 I C と工業団地へのアクセス道路。こちらもすでに事業には着手しているが、工業団地整備の関係もあり、数年程度かかると見込んでいる。

委員：

健康運動教室等を実施しているが、健幸都市の実現に向けての今後の見通しなどお聞かせ願いたい。

福祉参事：

H23 年 11 月に健幸都市宣言をし、事業を展開しているところ。H27 年 4 月に健幸都市づくり課を立ち上げ事業の中心を担っている。運動の習慣化を目的とし、ソフト事業として元気づくりシステムを市内 68 か所で展開している。健幸都市のソフト事業の中心として進めていきたい。

委員：

高子北の開発は市内業者が参加するなど、経済効果も享受できるよう要望する。

市長：

趣旨は理解できるが、高子北の開発事業費は膨大なもので、市内業者だけでは厳しい。事業自体も組合施行。新市建設計画とは別物であるため、計画には記載していないがしっかり対応していくということをご理解願いたい。

委員：

市民ホールは計画に入っていないが、今後 20 年を考えたときに検討の余地はあると思うがいかがか。

直轄理事：

計画に記載されていないが、全く考えていないわけではない。ただし、梓とか財源の問題もあるので、規模であるとか細かいところも踏まえて考えていきたい。

市長：

市民ホールをつくるかどうか。作るとすればどこにつくるか。いろいろ検討しなければならない。人口減少社会において市民ホールの役割についても考えたい。例えば音楽ホールなら専門員も配置しなければならない。使用頻度の問題もある。用途として県北全体、県全体としての議論も必要。興業的には 1,000 人規模は必要だと思う。

市の単独で作るのはリスクも大きいと思う。福島市が広域連携を打ち出している。共同で作るかとか基本構想的な検討をしているところ。

委員：

霊山高原構想について今後の進展に期待しているところ。H28 年には絵本のミュージアムということだが、全体的にはどのように開発が進むのか教えてほしい。

市長：

霊山高原構想はまだ具体化していない。構想は、いろいろな建物をつくるということではなく、霊山高原の持つ土壌、青少年健全育成に資するような整備を行うということ。ただ、まずは構想の中心を担うこどもの村の整備に全力を挙げたい。全体の整備の検討や方向性については、皆さんの知恵をお借りしたい。

(3) その他

委員：

募集要項によれば審議会は年 2 回程度の開催とあるが、今後の開催の予定と、例えば本日の資料を見てその他に意見を述べる場というものはあるのか。

直轄理事：

審議会は立ち上げたばかりで、これまでの経過を承知している方と、全く新しい方がいるなかで、目線を合わせていくという意味でも様々なご意見は頂戴したいと考えており、ご説明を含め別途個別にご連絡差し上げたい。

市長：

要項では 2 回と記載があるが、必ず 2 回というわけではなく、次回からは会長が委員を招集するわけで必要に応じて柔軟に対応できればと思う。ただし、委員全員の招集というのものなかなか

難しい。いずれにしても個別の意見等あれば、事務局まで申し出ていただければと思う。

～以上、閉会～